

Aikou

2024年6月園だより

愛香南部幼稚園

〒921-8035

金沢市泉が丘 1-16-8

Tel 241-3860

「しょうぼうじどうしゃ じふた」

チャプレン 山田 和人

懐かしい絵本のタイトルです。「しょうぼうじどうしゃ じふた」

わが子に絵本の読み聞かせをしていた時の長男のお気に入りでした。まだ2歳でしたが、毎晩読んでいるうちに、丸暗記してしまいました。すごく良くできている絵本だなと思ったのは、「きかんしゃやえもん」阿川弘之さんの作品で、文章がとても上手いと思いました。時代遅れとなった機関車のやえもんが、速くて快適な電車に立場を奪われ、「しゃ、しゃ、しゃくだ、しゃくだ」と顔を真っ赤にして怒っている場面がとても印象的でした。

ストーリーは、個々の世界を描き出します。その世界の中にいるきかんしゃやえもんは、嫉妬したり怒ったりはしないただの鉄の塊だとは、子どもは思いません。一つの世界を体験することで、子どもの宇宙は広がっていきます。子どもの宇宙の中でこれまでに聞いた個々のストーリーが出会い、つながりを持った時に、そこに意味が生まれます。意味のつながりの中にあることが子どもの生きている世界保証し、安心感を与えます。

幼稚園のお友だちと共に礼拝を守るようになってから1年が経ち、私自身新しい世界を体験するようになり、少しだけ「子どものように神の国を受け入れる人」(聖書 マルコによる福音書 10章15節)になれたような気がします。

「新しいいのち」

園長 富樫 立子

親子遠足の時、皆様にお伝えしましたように愛実先生のお腹に新しいいのちが生まれました。とてもとても嬉しいことです。今はまだつわりで体調が優れないようですが、職員で仕事をカバーしながら見守っていきたいと思います。

「いのち」の誕生というとクリスマスのイエスさまの誕生の話と重ねてしまいます。愛実ベビーちゃんの予定日もクリスマス・イヴというからなおさらです。神さまは世界中の人々の平安を祈ってイエスさまをくださいました。いのちの誕生にはすべて神さまの思いが込められているのです。今、身近な先生にいのちが宿っていることは、幼稚園の子どもたちにとっても大切な経験となるでしょう。

私事ですが、30年前第1子を授かった時はこの愛香南部幼稚園で勤めておりました。周りの先生や保護者の方々、そして子どもたちにとっても大切に優しくお腹の命を守り育てていただいたことをはっきり覚えています。子どもたちが声をかけるとピクピクお腹が動き、不思議そうに見ながらたくさん撫でもらいました。今いる13名の子どもたちも、きっと愛実ベビーちゃんの成長と一緒に喜び、愛してくれると思っています。いのちの尊さを少しでも感じてくれるよう願います。

くらすすけっち

少しずつ園生活のリズムに慣れてきました。2人にとって、4月から初めての事が沢山です。その中で1番の出来事は、ゆり・たんぼぼ組さんと一緒に手を繋いで出かけるお散歩です。少しずつ距離を伸ばしていっぱい歩いています。

K君は、ゆり組さんの遊び方を見よう見まねで、公園の遊具によじ登り遊びます。難しい事はゆり組さんが、さっとサポートしてくれるのでとても嬉しそうです。ゆり組さんから刺激をいっぱい受けているK君です。また、出会ったワンちゃんに、物おじもせず触ろうとするので、ワンちゃんの方がびっくり！吠えられても気にせず、かわいくて手を出そうとするので、慌てて彩子先生が止めてくれました(笑)

R君は、色んな物を見つけるのが上手です。『どんぐり公園』でどんぐりや葉っぱを沢山見つけて、触り心地の感触を楽しんでいます。雀の鳴き声や、羽ばたく音にも敏感に感じ取り、追いかけて楽しんでいます。途中の道で出会う、シヨベルカーにも興味津々のR君です。

お散歩が大好きになった2人です♥

すみれ組 宮崎 詩世

ゆり組のお部屋で“ゆりぐみホテル”がオープン！！ベットから始まり、お風呂、カードキー などなど…たくさん作ってみたい要望が出てきました。〈アイデアはたくさん出てきますがなかなか作ってみようという姿が見られず、最初は教師が作っていました(笑)〉ところが、少しずつ子どもたちにも変化が出てきて『ホテルのレストランなら、メニューがあったほうがお客さんは分かりやすいんじゃない?』と投げかけてみると、「そうだね。おきゃくさんにわかりやすくしよう」とメニュー表作りがスタート。“壁に張るタイプ”と“手に取って見るタイプ”の2種類が出来上がりました。メニュー表はママごとコーナーにある食材を見ながら描いていた子どもたち。いろいろなアイデアを出し合って、友だちと相談しながら作っていけるようになってきたことは嬉しいです。まだまだ、発展途上の“ゆりぐみホテル”ですが、ファミリーデーには形になって保護者の皆さんをご招待出来たらと思います。(その日まで続いているのか、そちらも楽しみにしてくださいね。)

ゆり組 氣谷 彩子



たんぼぼ組の生活にも少しずつ慣れてきました。それぞれ好きなパズルやブロック、ママごとをしているかと思えば、3人そろって「せんせーいコンビ二いくから乗って〜！」とウキウキ顔で車に見立てた椅子に並んで座っていたりします。(なぜか頭には輪投げのねじりはち巻きが?! これをかぶってないと車に乗れませんでした。子どもたちの発想はほんとにおもしろい!)

たっぷり遊んだ後はまだまだ遊びたいところですが、気持ちを切り替えてパッとお片付けモードにチェンジ! 「ちからもちだからね〜まかせて♪」と大きなソフトフォーミングやマットをエッサホイサと運んでくれます。とってもお片付け上手な3人です✨

お天気のいい日はゆりさんと手を繋ぎいろんな公園に出かけています。先日は子ども交流センターまで足を伸ばすことができました。どんどん「歩く力」がUPしています。

たんぼぼ組 北村 愛実

あそびのなかから...

先日、雲一つない青空の中、みんなでばら公園へお散歩に行ってきました。大きい組さんと小さい組さんが手を繋ぐ姿はとても微笑ましく、後ろから「がんばれ〜！」と応援したくなります。

ばら公園では、新緑の葉っぱのいい香りが広がっている中、赤やピンク、白や黄色など色とりどりのばらの花が咲いていました。

「わあ〜きれい〜」「わたし、〇〇いろがすき」「いいにおいするね〜」「なんか、かわったかたちのばらもあるよ」と、視覚や嗅覚を使っていろんなことを感じていました。新たな発見に目をキラキラさせていたみんなでした。

きれいなばらの花と一緒に記念撮影。ゆり組は満場一致で「きれいなのはなのまえ」とのことでしたよ。



櫻井 真澄